



ちゅぴCOM
マスコットキャラクター
“ちゅぴコ”

広島カープとのコラボで進める 地域密着戦略

ちゅぴCOM
ひろしま
ふれあい
おのみち



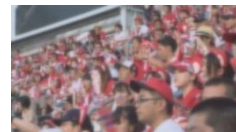
取り組みのコンセプトと背景

2012年12月、広島市内に2局あるケーブルテレビがともに中国新聞社グループになった。これを機に、折からの「**熱いカープ女子**」ブームもあって、広島最大の地域コンテンツである広島東洋カープの番組制作に全力を挙げの方針を決めた。

新聞社グループの「ちゅぴCOM」ひろしま、ふれあい、おのみち3局と新聞社が連携。球団の協力を得て、地上波では取り上げていなかった2軍戦の中継を始め、1軍戦のゲーム開始直前の時間帯に生中継する番組にも取り組んでいる。

2軍選手の寮と練習場の見学会など関連イベントも相次いで開催し、地上波の放送局とはひと味違った展開を心掛けると同時に、2軍戦の観客増にも貢献している。

ケーブルテレビの存在感を高める取り組みとして、今後も力を入れていく。



広島東洋カープ
2軍中継での解説者の派遣
イベントでの協力 など

ファンのすそ野の拡大
応援熱の盛り上げに貢献

中国新聞社
紙面連動
イベント協力 など

ちゅぴCOM
カープ関連番組制作
イベントの実施 など

ゲーム直前
カープタイムス 5chぴCOM



新井選手 2000安打期待
「新井選手の2千安打が早く見たい」と
応援を叫ぶファン

中国新聞紙面への掲載例



地上波にないキラーコンテンツとしての新番組

CARPTIMES ウェスタン・リーグ中継

2014年から制作を始めた2軍戦の実況生中継。球団との調整など準備に1年かけた。

カープ2軍戦は由宇球場(山口県岩国市)が本拠地なので地元のケーブル局アイ・キャンの協力も得ている。

解説陣は野球の殿堂入りした外木場義郎氏、元監督の

達川光男氏らカープOBに、球団からスカウトらも加わる。顔ぶれの豪華さでは地上波局に引けを取らない。2016年は16試合を放送予定。ダイジェスト版(60分)は中国地区ケーブルテレビ14局が放送する。



実況・解説者

ゲーム直前CARP TIMES (マツダスタジアム編)

2014年から放送を開始。民放地上波局の中継がない日の試合開始直前の25分間、放送する。

解説は2軍中継と同じくカープOBが出演して、試合の見どころをたっぷり紹介する。生中継のよさを生かして観戦に訪れたファンにインタビューし、熱い思いを届けている。



ゲーム直前CARP TIMES (広島市内百貨店編)

民放地上波局の試合中継がある日はスタジアムから放送できないため、その対策として2015年に始めた。

スタジアムに一番近い百貨店とタイアップして企画。午後4時から収録し、5時半から放送する。観戦に向かうファンに登場してもらい、カープOBの解説者に質問するコーナーも。今シーズンは9試合放送する予定。



カープなんでも調査隊

シーズンオフにもカープの情報を知りたい、というファンの要望に応える番組として2016年のオフに新たに制作した。

カープ芸人ザ・ギース尾関高文をメインにしたバラエティー番組で、1月～3月に30分番組を5本放送した。日南キャンプにも出かけ、シーズン開幕前の盛り上げにも一役買った。

中国新聞紙面から



日南キャンプ

カープが天福球場(宮崎県日南市)で実施中の春季キャンプに、ザ・ギース尾関高文さんが潜入。練習の様子も選手の声を、22日からお届けする。

大瀬良大地投手や横山弘樹投手たちの「さらさら」の取材に挑戦。2軍の東光寺選手(同)にも取材した。

ふらさがり取材に挑戦

尾関さんと親交のある選手が自然に集まる。そこで見せる選手の表情が、何をかかっている。朝、選んだ選手たちも要チェック。




大瀬良投手姿にふらさがり取材する尾関さん

【放送時間】中国新聞グループのケーブルテレビ「ちゅびCOM」で22日午後1時半～2時、28日まで連日リピート放送する。

これまでに取り組んだ2軍戦関連の各種イベントと反響

カープ女子会

お客様サービスの一環として、2軍戦がマツダスタジアムで開催された2015年9月5日、加入者を対象に、「カープ女子」200人をスタジアム内のパーティーフロアに招待した(応募551人)。

試合前にはスタジアムの見学ツアーやサイン会を実施。食事を楽しみながら声援を送ってもらった。2軍戦の中継ともリンクし、パーティーフロアから参加者の声を中継時にレポートした。



カープ大野寮 見学ツアー

カープの2軍をもっと知ってもらうための企画。選手が入寮している大野寮(広島県廿日市市大野)に、加入者を招待し、寮の部屋や屋内練習場を見学。ティーバッティングを体験した。

また、料理が美味しいと定評のある寮の食堂で、選手と同じメニューの昼食を食べもらう企画は大好評。ことしも計画している。



カープ2軍観戦バスツアー

カープ2軍本拠地・由宇球場は広島市中心部から約60km、高速道を走っても1時間半以上かかる。「観戦に行きにくい」というファンの声もあることから、中国新聞社がJR広島駅発着の2軍戦観戦バスツアー(有料)を主催。関連会社の旅行会社とも連携して年2回実施している。

ツアーにはカープOBや地元タレントに同行してもらい、魅力度を高めている。選手との記念撮影会や握手会などの特典もある。

遠隔地やお年寄りのファンに喜ばれている。



今シーズンから登場 新企画・ファンメッセージBOX

カープ大好き ファンメッセージBOX



2016年のシーズン開幕から、マツダスタジアム内にある中国新聞ボールパークステーションにカープファンが“カープ愛”を30秒以内で自由に撮影できる装置「カープ大好き ファンメッセージBOX」を設置した。

撮影した映像は、ちゅピCOM11ch(コミュニティチャンネル)で番組間や、カープ関連番組の中で放送している。

カープファンに頻繁に放送に登場してもらうことで、ちゅピCOM11chを「カープファンと作る地域のチャンネル」に育てていきたい。

スタート好調で、1試合で15組以上が利用し、選手への応援メッセージなど、それぞれ思い思いのカープ愛を叫んでいる。

ケーブルテレビ以外の媒体でも展開することを検討している。

成果とこれからの展望

2軍を中心に期待の若ゴイを取り上げる取り組みを通じて、2軍戦の観客が毎年増え、ファンに注目されることで若手選手の練習に取り組む意識が高まった、と球団にも評価されている。中継スタッフがファンに激励されるケースも増えてきた。

2軍戦の配信局は中国地方で2014年は6、2015年は10、2016年は14とこちらも増えている。「東京でも2軍戦が見たい」というファンの熱い要望を受け、2015年には首都圏の2局と大手MSO1局で放送していただき、ファンの広域化にも貢献している。

今後は、全国のプロ野球球団が所在するケーブルテレビ局とプロ野球番組を交換するネットワークを構築するなど、球団のフランチャイズ制と連動した新企画を模索しながら地域密着の取り組みをさらに拡大していきたい。



動画を撮って
カープ応援

マツダ球場に「メッセージBOX」

プロ野球が開幕する26日、中国新聞社とケーブルテレビの「ちゅピCOM」は、マツダスタジアム(広島市南区)1階のボールパークステーションに、広島東洋カープを応援する動画メッセージを撮る「カープ大好き ファンメッセージBOX」を設置する。メッセージはちゅピCOMのカープ関連番組で放送する。

中国新聞スポーツ面を印刷したカードで仕切ったBOXは、高さ2・2m、幅2m、奥行き1・2m、内部にビデオカメラやマイクを備える。液晶画面の指示に従って操作すると、30秒以内で応援メッセージを録音、録画できる。撮り直しも1回だけできる。設置作業が23日にあり、ちゅピCOMスタッフが収録のリハーサルを繰り返した。

メッセージ収録は、試合日のスタジアム開演時間から五回終りまで。開幕戦の25日は午後3時から、マツダスタジアム入場のための観戦チケットが必要。ボールパークステーションの営業日であれば、試合のない日も受け付ける。(永山啓)

中国新聞紙面から